

■第29回歴史地震研究会(横浜大会)のお知らせ(第2報)

歴史地震研究会では、9月14日(金)～16日(日)の3日間にわたって、横浜市にある横浜開港資料館ほかにて第29回歴史地震研究会大会を開催いたします。予稿原稿の投稿、研究発表会・懇親会・見学会への参加申し込み締め切りは7月31日(火)、公開講演会への参加申し込み締め切りは8月31日(金)です。

【主催】歴史地震研究会

【共催】横浜開港資料館・横浜都市発展記念館

1. 場所および日程:

[第1日]9月14日(金) 会場:横浜開港資料館講堂

午前・午後:研究発表会第1日/夕方:懇親会

ポスター会場:横浜都市発展記念館

[第2日]9月15日(土) 会場:横浜開港資料館講堂

午前・午後:研究発表会第2日/夕方:総会

[第3日]9月16日(日) 会場:横浜市開港記念会館

午前:見学会「横浜・関東大震災の痕跡をめぐる」

午後:公開講演会「神奈川の関東大震災」

会場所在地

横浜開港資料館 〒231-0021 横浜市中区日本大通3

横浜都市発展記念館 〒231-0021 横浜市中区日本大通12

横浜市開港記念会館 〒231-0005 横浜市中区本町1丁目6

2. プログラム:

9月14日(金):

9:30～ 受付開始

研究発表会・参加費(含予稿集代):

歴史地震研究会会員1000円, 非会員2000円(学生は無料)

I 津波堆積物(10:15-11:30)(*は発表者, 以下同じ)

- ・ 平川一臣*・川上源太郎・田近淳・廣瀬 亘・深見浩司: 日本海東縁の巨大津波履歴: 北海道奥尻島の古津波堆積物
- ・ 千葉 崇*・石辺岳男・佐竹健治・島崎邦彦・須貝俊彦・西山昭仁・原田智也・今井健太郎・行谷佑一・上野俊洋: 三浦半島江奈湾で採取された過去4000年間の津波堆積物
- ・ 藤原治*・青島晃・北村晃寿・佐藤善輝・小野映介・谷川晃一朗・篠原和大: 元島遺跡周辺(静岡県磐田市)で見られる4世紀から中世にかけての津波堆積物
- ・ 穴倉正展*・安藤雅孝・中村 衛・涂陽子・新城安尚: 石垣島における掘削調査で観察された1771年八重山津波(?)堆積物
- ・ 樋口茂生*・東将士・稲田晃・伊藤彰秀・岩本広志・上加世田聡・川崎健一・楠恵子・佐藤伸司・品田正一・末永和幸・渡邊拓美: 現代生成層-人工的二次堆積物の性状と震災との関係一

(昼休み 11:30-13:00)

II ポスター発表 (13:00-14:00)

- ・ 藤原治: 関東地震に関連する津波堆積物の研究: 現時点のレビュー
- ・ 金幸隆・熊木洋太・佐竹健治: 三浦半島南部の地形調査・堆積物調査から推定された過去複数回の関東地震による上下地殻変動と津波
- ・ 佐藤善輝・藤原 治・小野映介・矢田俊文・海津正倫: 浜名湖西岸の浜名川流路跡で見られる中世以降の津波堆積物
- ・ 青島晃・柴田達哉: アンケート調査による1944年東南海地震の静岡県太田川低地の液状化発生地点
- ・ 中西一郎・露木啓悟: 安政南海地震に伴う地殻変動: 高知市・南国市
- ・ 水田敏彦: 1914年秋田仙北地震の人的被害に関する資料について
- ・ 白石睦弥・檜楨貢・丹野正・佐々木純一郎・野澤敬之・大山祐太: 東日本大震災八戸市被災3地区の調査結果

(会場移動 14:00-14:15)

III 関東の地震 (14:15-17:00)

- ・ 磯田道史*: 鹿島大宮司日記から新出した地震記録とその考察—元禄関東地震の地震動を中心に—
- ・ 松浦律子*: 1894年10月7日などいくつかの古い地震の震源変更
- ・ 萬年一剛*・五島朋子・浪川幹夫: 大正関東地震による鎌倉・逗子の津波高一新資料と国土地理院数値標高モデルに基づく再検討—
- ・ 中西一郎*: 1923年関東地震直後の京都大学の活動: 京都大学に残る記録(3)P波初動分布と震源
- ・ 松本洋幸*: 関東大震災と小学校—横浜市南吉田第二尋常小学校・寿小学校を中心に—

(休憩 15:30-15:45)

- ・ 吉田律人*: 関東大震災における犠牲者のゆくえ—横浜市域の遺体処理と慰霊・追悼—
- ・ 青木祐介*: 関東大震災による煉瓦造建造物の被災状況—横浜を事例として—
- ・ 武村雅之*: 石碑が語る関東大震災
- ・ 羽鳥徳太郎*: 2004年, 2005年房総沖地震津波と歴史津波
- ・ 石辺岳男*・酒井慎一・島崎邦彦・佐竹健治・鶴岡弘: 2011年東北地方太平洋沖地震後の南関東における地震活動と歴史地震の震源域への影響

懇親会 18:00～ 会場: 横浜中華街(予定)

参加費: 5000円(学生: 3000円)

9月15日(土):

IV 越後・近江・丹後・豊後の地震 (10:15-11:45)

- ・ 河内一男*: 越後の古代図に見る津波記録の検証 —その2—
- ・ 西山昭仁*: 天延四年(976)京都・近江の地震における被害実態

- ・ 松岡祐也*: 1596年豊後地震による各地の被害の再検証
- ・ 大邑潤三*: 1927年北丹後地震における熊野郡の被害とその発生要因
- ・ 植村善博*: 1927年北丹後地震における峰山町と網野町の復興計画
- ・ 新谷勝行*: 丹後震災記念館の建築とその意義

(昼休み 11:45-13:15)

V 南海トラフの地震 (13:15-14:15)

- ・ 神田克久*: 沈み込むフィリピン海プレートで発生したスラブ内の歴史地震の地震規模の評価
- ・ 羽鳥徳太郎*: 静岡県～三重県沿岸の津波累積エネルギー分布
- ・ 内田篤貴*・浦谷裕明・小川典芳・中川進一郎: 明応地震津波に関する東海地域での現地調査結果について
- ・ 都司嘉宣*: 『谷陵記』の記載、および寺社被害史料からみた宝永地震津波(1707)による高知県での浸水状況

(休憩 14:15-14:30)

VI 北海道・東北の地震 (14:30-15:30)

- ・ 行谷佑一*・矢田俊文: 享徳三年(1454年)に奥州を襲った津波
- ・ 都司嘉宣*: 慶長16年(1611)三陸沖地震の発生メカニズムの考察
- ・ 中西一郎*: 北海道と周辺の歴史地震史料:安永八年(1780年)得撫(ウルップ)島沖地震
- ・ 白石睦弥*: 八戸地域における歴史災害と支援の実態

歴史地震研究会総会 (15:45-17:00)

9月16日(日):

午前: 見学会「横浜・関東大震災の痕跡をめぐる」

10:00-12:00 (予定)

山下公園など関東大震災に関する横浜市内の史跡を巡る。

参加費:1000円(保険料含む)

午後: 公開講演会「神奈川の関東大震災」(13:30-16:30)

司会 北原糸子(立命館大学歴史都市防災センター)

13:00 開場

13:00-13:30 あいさつ

13:40-14:10 武村雅之(名古屋大学)

「関東大震災と神奈川」

14:10-14:40 大西比呂志(フェリス女学院大学)

「女学生のみた関東大震災」

14:40-14:50 (休憩)

14:50-15:20 寺寄弘康(神奈川県立歴史博物館)

「浦賀町の震災対応」

15:20-15:50 松浦律子(地震予知総合研究振興会)

「神奈川県津波想定について」

15:50-16:00 (休憩)

16:00-16:30 総合討論

参加費:無料

3.各種申し込みについて

研究発表の申し込みはすでに締め切りました。

(1) 予稿原稿の投稿

発表1件につきA4サイズ1ページ、カメラレディ(そのまま印刷可能な)原稿をご用意願います。白黒印刷に配慮した作成(特に図や写真)をお願いいたします。原稿は原則としてWordファイルを電子メールでお送りください。やむを得ない場合は郵便にてお送り願います。7月末日必着といたします。送付先は文末に記された宛名となります。

(2) 懇親会・公開講演会・巡検の申し込み

電子メール、ファックス、郵便のいずれかにてお申し込み下さい。懇親会・巡検の締切は7月31日(火)、公開講演会の締切は8月31日(金)です。巡検の定員は30名、公開講演会の定員は250名で、受付は先着順となります。

なお、巡検に申し込まれる方は保険加入のため、氏名のほか住所・生年月日・電話番号(携帯可)をお知らせください。※懇親会・公開講演会・巡検の申し込み先は予稿原稿の送付先と同じです。

4. 各種申し込み先・問い合わせ先

歴史地震研究会 行事委員会:

吉田律人(委員長)・馬場俊孝・松浦律子

電子メールの場合:yokohama@erc.adep.or.jp

手紙・FAXの場合:

〒101-0064 千代田区猿楽町1-5-18千代田ビル8F

地震予知総合研究振興会内

歴史地震研究会 行事委員会 吉田律人・馬場俊孝・松浦律子

FAX番号 03-3295-1507